平成24年 年頭のあいさつ

笑顔と元気あふれる住みよいまちに

田布施町長　長信　正治

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

私は、町長として2期目、2回目の新春を身の引き締まる思いで迎えました。

さて、昨年は東日本大震災により、東北地方を中心に未曾有の大被害が発生し、多くの尊い人命が奪われ、大津波により壊滅的な災害を受ける被災地の現状には目をおおうばかりでありました。本町でも義援金、支援物資、被災地への職員派遣など被災地支援に協力してまいりました。私と致しましては今後ともこうした支援が効果的に継続され、一日も早く被災地の復旧・復興ができることを願っているところであります。

また、タイでの大洪水をはじめ、異常気象等による地球規模の自然災害が多発するとともに、ヨーロッパ諸国での金融危機は世界経済を揺るがし、国内の多くの企業にも影響を与えています。

こうした厳しい社会経済情勢のもと、本町では、昨年、平成32年度までのまちづくりの最上位計画となる「第5次総合計画」を策定しました。この中で、まちの将来像のキャッチフレーズを「笑顔と元気あふれる住みよいまち田布施」とし、一層の行政サービスの向上と、将来にわたる健全で安定した財政運営ができるよう努力していく所存であります。

次に、具体的な施策についてでありますが、私は、町長に就任して以来、「農業の再生」、「安心安全のまちづくり」、「健康づくり」、「住み良さ県一」をテーマとしてまちづくりに取り組んでまいりました。

おかげさまで、昨年は、国営ほ場整備事業を進めていくための事務所が本町に開設され、いよいよ事業に着手する運びとなりました。

町と致しましては、このほ場整備事業を核として、荒廃農地解消や農地の有効利用が図られるよう関係団体と連携して取り組んでいる所存あります。

また、町の最重要事項としてきた公共施設の耐震化対策については、麻郷小学校校舎及び屋内体育館が完成し、城南・麻里府保育園の耐震化も実施することができました。年度内には、城南・麻郷公民館の耐震化工事等も完了し、耐震化対策も一定の目途がたつと考えております。

昨年10月には、山口国体のゲートボール競技を本町で開催することとなりましたが、関係者のご協力をいただき、スポーツまつりと同時開催することができ、県内各地からお越し頂いた多くの皆様に、スポーツを通じた健康づくりを実感していただけたと考えております。

町といたしましては、今後とも、町民の健康維持・増進の健康づくりに務めるとともに、新しい時代に対応したまちづくりの仕組みを整えながら、住み良さ県一が実感できるよう積極的に事業を進めてまいります。

最後になりましたが、本年も更なる「躍進」の年とし、笑顔と元気あふれる魅力ある田布施の実現を目指して全力を尽すことをお誓いし、新年のご挨拶とさせていただきます。